



地域を形成するのは人。そこに住まう 人の元気が地域のこれからを創る

八幡浜市日土東地区 地域おこし協力隊

大西 千晶

地域おこし協力隊になるまで

私は平成27年4月、八幡浜市地域おこし協力隊の第1期生として、中山間地域である日土東地区に移住しました。今年、任期最終年度の3年目を迎えています。

実家は同じ県内の伊予郡松前町。今でこそ宅地化が進み大型ショッピングモール等もありますが、私の幼少の頃は見渡す限り田畑が続く町でした。兼業農家だったので、両親の手伝いの傍ら鮒が泳ぐ側溝で遊び、自分で採ったトマトを井戸水で冷やして食べ、苦手な蛇を見つけては肝をつぶす毎日を過ごしていました。

幼心にその頃感じていたのは、両親の応用力の高さ。農作業中、物が壊れてもそこにある物で対応するのを見て、大人になったらあんな事が出来るようになるんだ！とワクワクしたのを覚えています。

す。月日が流れ、自分が当時の両親と同じ歳になった時、余りに何もできない自分に気づき愕然としました。もっと色々な知恵や地力をつけたい！そう思ったのが地域おこし協力隊に応募したきっかけです。

日土東での活動

着任後は、毎日色々な行事にお誘い頂きました。知らない土地で不安を感じないようにという、皆さんの優しさだったんですよね。お陰で様々な方にお会いでき、すぐその魅力にノックアウトされました(笑)。人数が少ない分、どうしても一人の役割が多くなるので、自然と皆さん色々なノウハウをお持ちです。応用力や対応力、無から有を作り出す地力の強さは、すごい一言です。その上、人柄も柔らかくて温かくて。

就任当初から掲げているモットーは、

地域の方の楽しい一日を増やすお手伝いがしたいという事です。やはり、地域の主役は地域の皆さん。主役が元気で初めて、地域活性化が始まると思っています。皆さんの気持ち



活動地域



サロンお手伝い

だけ前に向けるきっかけを作る事。その為に、まず自分自身が汗を流す事。非常に地味ですが、私はこれが一番重要な活動と思っています。具体的な活動





として、人気美容室の若手スタッフによる高齢者向け出張ボランティアカットや、



お化け屋敷ポスター

大学とコラボしたお化け屋敷の開催、地域の炭焼クラブさんと炭の窯だし体験イベントなど、



炭焼きイベント

地域内外の方々に楽しんで頂ける企画を大勢の方のご協力を得ながら取り組んできました。現在はそれらと並行して、地元の若手メンバーに声掛けして立ち上げた団体「HIGASHILIFEEN(ひがしらいふ・えん)」で、廃校となった小学校校庭を利用した校庭マルシェを不定期で開催しています。このマルシェは、メンバー全員の頑張りで大勢のご協力者のお陰で、毎回僅か3時間の開催時間中

に地域内外から500名近い来場者にお越し頂いています。『地区の物を外に、外の物を地区に。』という新しい交流の場になりました。



校庭マルシェの様子

活動を通じて

活動の際、心掛けているのは次の点。
 ①ヨソモノ視線を活かした私なりの提案をする事。
 ②上手に外の力を借りる事。
 ③その際はお互いにメリットを感じられる内容にする事。
 ④準備も運営も無理は禁物。継続できる仕組みづくりをする事。
 ⑤何より皆がワクワクするものを作る事。

過疎が進む地域では、絶対的にマンパワーは不足します。そんな中でもやり方次第で、楽しみながら自分たちの故郷にまだまだ新しいものが起こせるという事を、皆さんに提示していけたらと思っています。実際、今の日土東ではそれが出来るし、日土東の皆さんとでなかったら、私はここまで来れなかったと思います。

協力隊として過ごしてきた2年間、地元の皆さんの間でも「自分たちもやって

やろう」という気運が緩やかに高まっている気がします。地域の文化を復活させたり、地区の景観保護に更に力を入れたり。それは、元々ずっと日土東の方々が持っていた気持ちやパワー。過疎高齢化が進む中で知らないうちに漂い始めていた諦めや停滞感が、「協力隊なんかには負けんぞ」という気持ちをきっかけに、それぞれが一步踏み出して頂けることによって穏やかに取り払われているとしたら、とても嬉しい事です。

私がいつも思うのは、皆さんが持っている対応力・人間力の高さこそ、過疎高齢化を迎える地域において一番の財産じゃないかなという事。ヨソモノの提案にノッてくれる懐の深さ。やると決めたらとことんやる度量の広さ。物が無ければ、作ってしまう創造力。何より皆で取り組む楽しい事が好きだという、人の関わり的重要性を知っている本質。いわゆる「田舎」といわれる地域には、この財産がたっぷり眠っているはず。少し言葉が悪いかもしれませんが、この財産を、当事者の方に楽しんで頂きつつ如何に活用できるかが、地域おこしの一番のポイントになるような気がしています。

地域の主役は地域の皆さん。皆さんの「楽しい一日」を増やすお手伝い。残り一年の任期も、日土東の皆さんと共に頑張りたいと思います。